

『あかね』『われもこう』について

学校卒業後の障がいのある我が子の生活を心配して、会を立ち上げようとしたお母さん達と、会の名称について話し合いました。あかねの花のことが話題に上り、根が草木染めで茜色に染まり、人を害虫から守り、人の心を明るくする役割をもつこの花に、障がいのある人達を支える活動を託そうということになり、『あかねの会』の名称が決まりました。また、平成22年に、就労支援室ビルを春日町1丁目に建てる時に、1階を就労訓練のためのレストランにしようということになり、レストラン名を考えました。「われもこう」の花は、「私も誰かのために、何かの役に立ちたい」という願いをもっています。私も何かの役に立つことを願っている — 我も乞う — という意味から「われもこう」という名前がついたとされています。その思いは、障がいのある彼らの思いに通じると感じ、レストラン名は「われもこう」に決めました。その後、カフェ・レストランが4店舗オープンしましたが、全て「われもこう」の名前をつけました。

われもこう

作詞 吉田 由紀子
作曲 みながわちかこ



われもこうの花は 小さい 小さい
われもこうの花は めだたない
だからだれも ふりむかない
だからだれも 気がつかず
でも われもこうは
だれかのために何かをしたい
何かの役に立ちたい
ずっとそうねがってる
ずっとそうねがってる
わたしも だれかのために 何かをしたい
わたしも なにかの役に立ちたい
※2回繰り返し返す
とても小さくて 目立たない花でも
力いっぱい 咲いて 咲いて
咲きつづけたい

あかねの花

作詞・作曲 吉田由紀子

あかね あかね あかねの花は
小さな花の 小さな集まり
小さな花が集まって ひとつの花になる
花は小さいけれど あかねの根っこは
明るく 明るく 布を染める
明るく 明るく 人を染める
寒さから人を守り 病から人を救う
あかね あかね あかねの会は
小さな人の 小さな集まり
小さな人が集まって ひとつの会になる
人は小さいけれど あかねっちは
明るく 明るく 空気を染める
明るく 明るく 心を染める
悩みから人を守り 寂しさから人を救う
ひとつの花 ひとつの花
ひとつの花に なる